



志岐高便り

第173号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

[TEL] 0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「ピンチをチャンスに」

教頭 野村雄大



「令和最初の3月」は、新型コロナウイルス感染症防止のため、これまで経験したことのない長期の臨時休業となりました。誰もが初めてのことで、先行き不透明、かつ、これまでの常識や経験だけでは乗り切ることのできない非常事態だと言えます。

感染症に国境はなく、人やモノの交流が盛んになればなるほど、感染のリスクは高まります。冷戦崩壊後の2002～03年に流行したSARSや、第一次世界大戦に係る1918～19年に流行したスペイン風邪(インフルエンザ)、もっと古くはパクス=モンゴリカ期の14世紀に猛威を振るったペストなど、人の頻繁な移動とともにウィルスも移動し、大流行をもたらしました。こうした事例をもとに歴史的教訓からとらえると、リスク低減の鍵は「人の交流や移動を抑制する」ということになり、今回の臨時休業もやむを得ないものだったと思います。

今君たちが経験している、登校や部活動が停止され、外出を避けて自宅で過ごさなければならないという未曾有の日々。しかしこのピンチは、逆にチャンスです。自宅で、学校が用意した課題や自らが課した課題に向き合い、じっくりと学習することで、“自宅学習の習慣を身に付ける”大きなチャンスです。まさに自己へのリーダーシップを養う絶好の機会といえます。3週間たった今、自らが過ごした日々を振り返ってみましょう。果たして“自宅学習の習慣を身に付ける”ことができたか否か・・・。



人は誰もが失敗をします。失敗をしない人はいません。しかし失敗を活かす人と、活かさない人に分かれます。失敗は成功の母、同じ失敗を繰り返さないことが肝心です。

明日から春季休業に入ります。新型コロナウイルスがどう終息するのかまだ不透明ですが、“自分の生き方を良くしたい”という思いは明瞭なはずで、これまでの3週間を振り返り、明日からの2週間をどう過ごすか、志を立てて過ごしてください。そして喜応寺ヶ丘に爽やかな春風が吹く頃、また当たり前前の学校生活が始まり、みんなで当たり前前の日常生活を送ることができることを切に願いながら、新年度を迎えましょう。



第 2 学 年 よ り

3月もあと少して終わりを迎え、いよいよ73回生の3年生が始まります。3月は2年生の締めくくる大切な時期だったのですが、コロナウイルス感染拡大の影響で、全く授業や部活動を行うことができず、皆さんと一緒に学校生活を送れないことが本当に残念です。早く学校が通常再開され、君たちの元気な姿を見たいと思っています。

しかしこのような状況であっても、自分の目指す進路を見据え、今自分がやるべきことを全力で実行してほしいと思っています。得意科目を伸ばす、苦手科目を克服する、自分の進路に応じた学習をする、進路先の情報を収集する、進路先の過去問を解いてみるなど、課題以外でもいろいろとやれることはたくさんあります。

4月から、どうなるか予測が付きませんが、3年生そして受験生になることは確かです。受験生としての覚悟を胸に、1日1日を大切にしながら、有意義な春休みを過ごしてください。4月からも、またともに頑張りましょう！

第 1 学 年 よ り

3月の休業期間には、授業をはじめとする本来なら行えていた様々なことができなくなりました。改めて「当たり前のことのありがたさ」について考えさせられた気がします。さて、休業期間に入る前の3月3日(火)には、休業期間を「自分や大切な人の健康・命を守るための期間」と位置付けたうえで、学習や進路についても次のようなキーワードを74回生の皆さんには投げかけています。①日々の学習時間=495分(45分×7コマ+家庭学習180分)、②苦手科目の克服、③進路探究を深めるetc…意識を高く持ち、春季休業期間中も充実した生活を送りましょう。

今年度一年間、“Survive the New Epoch(新時代を強く生き抜こう)”というキャッチフレーズのもと74回生とともに試行錯誤の日々を送ってきました。その中で皆さんの成長に携われたことはまさに“ありがたいこと”だと感じています。次年度もさらにパワーアップしていきましょう！

～ 李先生コラム 『再見』 ～

前回は中国の年中行事について話しましたが、いよいよ四月に入り、送別と新しい旅路の季節になります。私も壱岐で一年間を楽しく過ごしました。

去年の四月、初めて壱岐に来たとき国語科の先生方に誘われ、船に乗って初めて海上の花見をしました。そのときの柔らかい春風、澄んだ海、風に舞う桜の花びらはまだ記憶に残っています。綺麗な壱岐の島の風景は、これからずっと私の心に残るでしょう。この一年間は多くの方にお世話になりまして、人生の宝物になる一年間だったと思います。このコラムで皆さんに感謝の気持ちを伝えたいです。皆さん、一年間本当にありがとうございました！またどこかで会いましょう！



卒業式

3月1日(日)、本校で第72回卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルスの影響で、諸々の行事で自粛が要請されるなか、本校も規模を縮小して挙行了しました。来賓の方々も在校生も不在で、72回生を盛大に送り出すことができないのは残念でしたが、72回生は3年間の集大成にふさわしい卒業式を作り上げてくれました。

72回生のみなさんの今後の活躍を期待しています。



1	水	生徒登校日
2	木	入学予定者OR 部活動紹介
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	クラス発表 始業式 大掃除 入学式 学年PTA① 入市式
9	木	面談 課題テスト①②③ 容儀指導 離島留学生集会 第1回コース交流会
10	金	面談 課テ③ 部活動入部集会 胸部レントゲン①(14:00～) 校内研修①
11	土	スタサポ① 学校開放 第1回公務員・就職模試③
12	日	
13	月	面談 校内研修①
14	火	面談 前期学級自治委員任命式 尿検査1次 写真撮影①、校内研修①
15	水	面談 校内研修①
16	木	心電図①(@保健室13:05～15:30)
17	金	
18	土	学校開放
19	日	
20	月	心電図予備①(@保健室 午後) 各種専門委員会
21	火	身体測定・スポーツテスト①②③(終日) 文化祭実行委員会 公募締切 尿検査2次(該当者)
22	水	内科検診②(@保健室13:30～)
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	内科検診②(@保健室13:30～)
28	火	歓迎遠足 フォック決起集会 文化祭実行委員会
29	水	【昭和の日】 両校戦 (~5/5)
30	木	





今年度離退任される先生方 ありがとうございました!



野村雄大	教頭	丹下泰範	情報	廣村淳	数学	齋宮玲	数学
	副校長として 長崎東高校へ		1 - 1 副 バレー 長崎北高校へ		1 - 3 副 卓球 長崎西高校へ		3 - 4 副 ソフトテニス 西陵高校へ
藤田夏紀	生物	岩崎道能	世界史	大田弘志	地理	濱崎和也	体育
	2 - 1 副 科学 県教委へ		3 - 5 担 バスケット 長崎東中へ		3 - 6 担 陸上 諫早東高校へ		3 - 4 担 サッカー 県教委へ
山口峻史	国語、中国語	小野香	国語	丸木佑一郎	国語	秋月直剛	英語
	2 - 5 副 卓球 ご退職		3 - 2 担 書道、文芸 県教委へ		3 - 6 副 バスケット 佐世保南高校へ		2 - 5 副 バスケット 島原高校へ
李若楠	中国語	久枝純	養護	尾崎拓朗	実習助手	原康洋	事務
	3 - 6 副 上海外国語大学へ		佐世保ろう学校へ		1 - 4 副 ソフトテニス 聖和女子学院へ		県教委へ
渡邊揮一	事務	<p>この度の人事異動で17名の先生方が壱岐高校を旅立たれます。 今までありがとうございました。先生方のご健勝、ご多幸を祈念いたします。</p> 					
	ご退職						

東アジア歴史・中国語 コース

3月1日(日)卒業式の後、郷ノ浦港から離島留學生が旅立ちました。港には里親さんをはじめ、多くの方に見送っていただきました。壱岐の島で過ごした3年間は一生の思い出になることでしょう。みなさんの第二の故郷である壱岐に、いつでも遊びに来てください。よりいっそう立派になって、再び会えることを楽しみにしています。

